

明治安田生命 夏に関するアンケート調査を実施！

**夏休みの過ごし方は“安・近・癒”～「自宅でゆっくり」7年連続トップ～
節電意識は「西高東低」、エコ家電で4人に1人が「扇風機」購入！**

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、お盆の帰省シーズンを前に、夏に関するアンケート調査を実施しましたのでご報告します。

○今年の夏休み（詳細は4～8ページ参照）

■お疲れ気味のニッポン！？「自宅でゆっくり」の理由は「疲れをとりたい」がトップ

■節約志向はさらに高まる！夏休みで使うお金は「82,974円」に減少！

- ・夏休みの長期化傾向は続く！昨年に続き、過去最長の「9.5日」
- ・夏休みを自宅で過ごす理由、トップは癒しを求め「疲れをとりたい」が過半数の56.3%！
- ・夏休みを「プール・遊園地・テーマパーク」で過ごす“近場エンジョイ派”が2割超に上昇
- ・節約志向は依然高く、夏休みに使う平均金額は「82,974円」で2年連続減少の一方、“子供のいない夫婦”は初めて10万円を突破
- ・円高が好機！海外旅行先もやっぱり近場志向！「アジア」人気がダントツの約6割

○帰省の交通手段と費用（詳細は9～10ページ参照）

■新東名高速・LCC効果？高速道路利用が過去最高！「飛行機」派も増加基調

■帰省交通費は2年連続増加！おみやげ代は3年連続減少し、ついに1万円割れ！

- ・帰省交通手段は「高速道路利用」が52.9%！「新幹線」「飛行機」等は2年連続増加
- ・帰省交通費は「28,508円」で昨年より増加し、とりわけ“子供のいない夫婦”は大幅増加。一方、おみやげ代は「9,487円」でついに1万円割れ！

○節電への取組み（詳細は11～13ページ参照）

■今年は約9割が節電実施、取組み意識は「西高東低」！

■エコ家電人気NO.1は「扇風機」！4人に1人が購入！

- ・今年も夏のイメージは、やっぱり「節電」！3位に「五輪」
- ・節電への取組みは西日本が積極的！「近畿」「中国」「四国」「九州・沖縄」が9割超へ！
- ・節電対策商品のトップは「扇風機」！節電商品の平均購入金額は「36,013円」
- ・今年の冷房の設定温度は、ちょっと涼しめ「27.1℃」

【番外編】4年に一度の祭典「ロンドンオリンピック」（詳細は14ページ参照）

■メダル獲得予想、金メダルは「5.2個」、総獲得メダルは「14.2個」！

対象者の属性

1. 調査対象

20～59歳の男性・女性

2. 調査エリア

全国

3. 調査期間

2012年7月6日(金)～7月10日(火)

4. 調査方法

インターネット調査

5. 有効回答者数

1,110人

6. 回答者の内訳

(単位:人)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	計
男性	133	126	145	148	552
女性	143	144	146	125	558
計	276	270	291	273	1,110

【目次】

1. 今年の夏休み

- (1) 夏休みの日数の理想と現実 (4 ページ)
- (2) 夏休みの過ごし方と理由 (5 ページ)
- (3) 夏休みに費やす金額 (6 ページ)
- (4) 海外旅行の行き先と理由 (7 ページ)
- (5) 夏休みの計画と決定権 (8 ページ)

2. 帰省の交通手段と費用

- (1) 帰省の交通手段 (9 ページ)
- (2) 帰省の目的と費やすお金 (10 ページ)

3. 節電への取組み

- (1) 節電に対するイメージと意識 (11 ページ)
- (2) 節電方法と冷房の設定温度 (12 ページ)
- (3) 節電対策の購入商品とその金額 (13 ページ)

【番外編】4年に一度の祭典「ロンドンオリンピック」

- 注目競技とメダル獲得予想 (14 ページ)

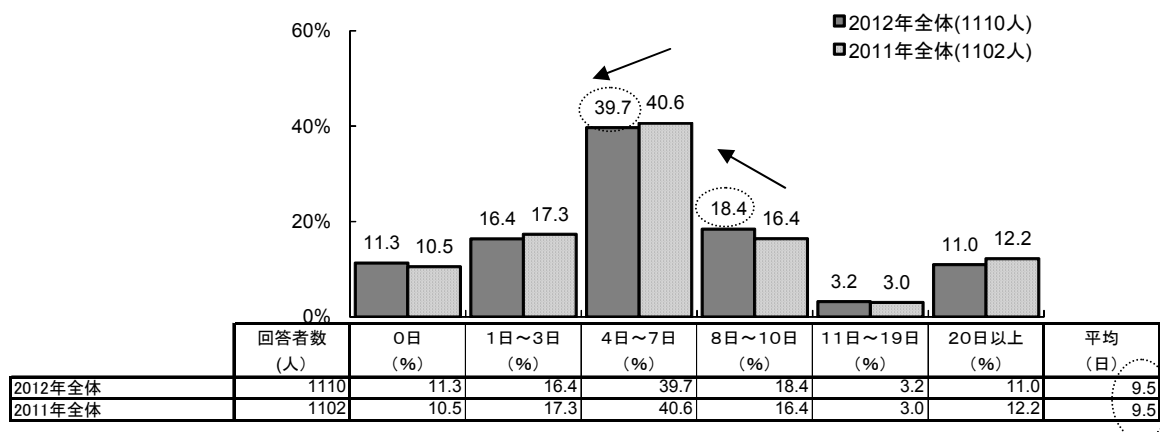
1. 今年の夏休み

(1) 夏休みの日数の理想と現実

**2年連続9日以上で夏休みの長期化傾向は続く！
過去最長の「9.5日」**

- 毎年恒例の夏休みの日数について聞いてみました。
- 今年の夏休みは、過去最長となった昨年と同じく「9.5日」となっています。
- 日数分布で見ると、昨年同様「4日～7日」(39.7%)が最多ですが、今年は「8日～10日」(18.4%)が昨年から2.0ポイント増加し2位となり、長期化傾向が続いていると言えそうです。
- また、理想の夏休みの日数について聞いたところ、全体平均では「12.5日」で現実の日数とは3.0日の差がありました。

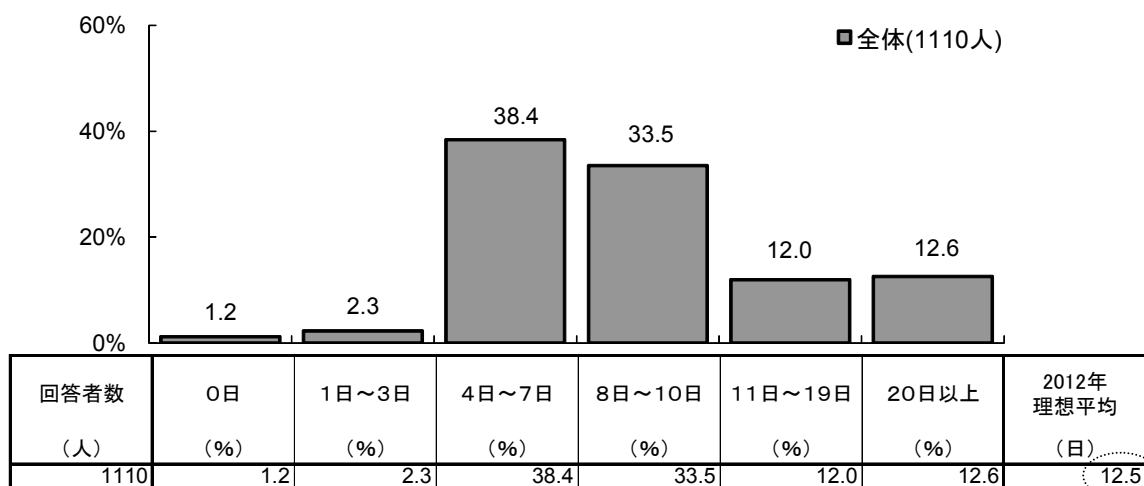
Q. あなたの夏休みの日数は何日ですか (土日も含め連続しての日数)



<参考> 夏休みの日数の過去の推移

	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年	2006年
平均(日)	9.5	9.5	8.1	7.7	6.5	7.9	6.3

Q. あなたの理想とする夏休みの日数は何日ですか (土日も含め連続しての日数)



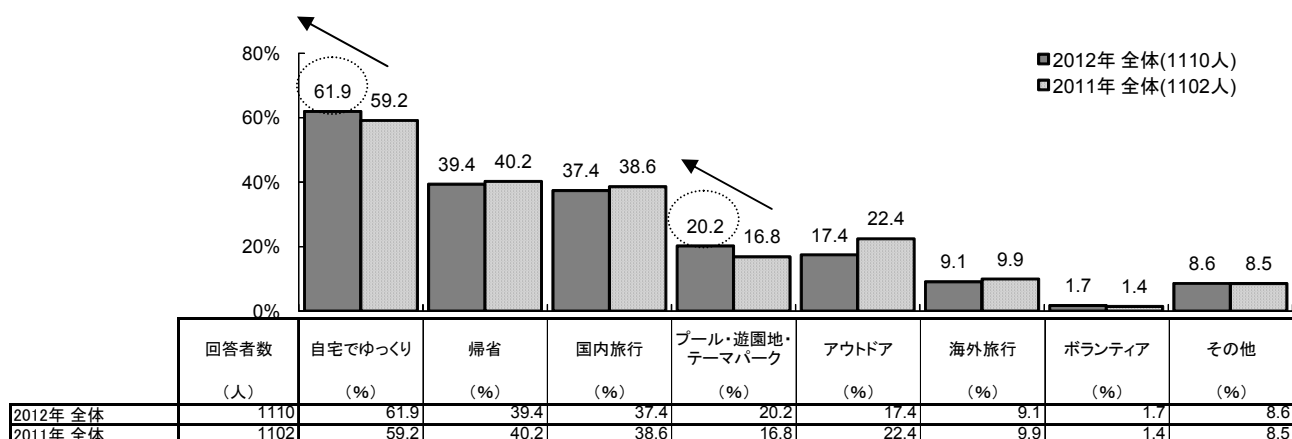
1. 今年の夏休み

(2) 夏休みの過ごし方と理由

**6割以上が「自宅でゆっくり」、理由は「疲れをとりたいから」
“近場で楽しむ派”も増加傾向に!?**

- 夏休みの過ごし方について聞いてみました。
- 今年もトップは「自宅でゆっくり」(61.9%)で、昨年から2.7ポイント増加し、6割を超えました。また、「プール・遊園地・テーマパーク」(20.2%)は3.4ポイント増加しました。遠出はせず、自宅や近場で遊ぶ過ごし方が人気のようです。
- また、「自宅でゆっくり」過ごす人にその理由を聞いたところ、過半数の人が「疲れをとりたい」(56.3%)と回答しています。厳しい経済環境の昨今、毎日の仕事で疲れた体を癒す人が多いのかもしれません。

Q. 今年の夏休みの過ごし方を教えてください(複数回答)

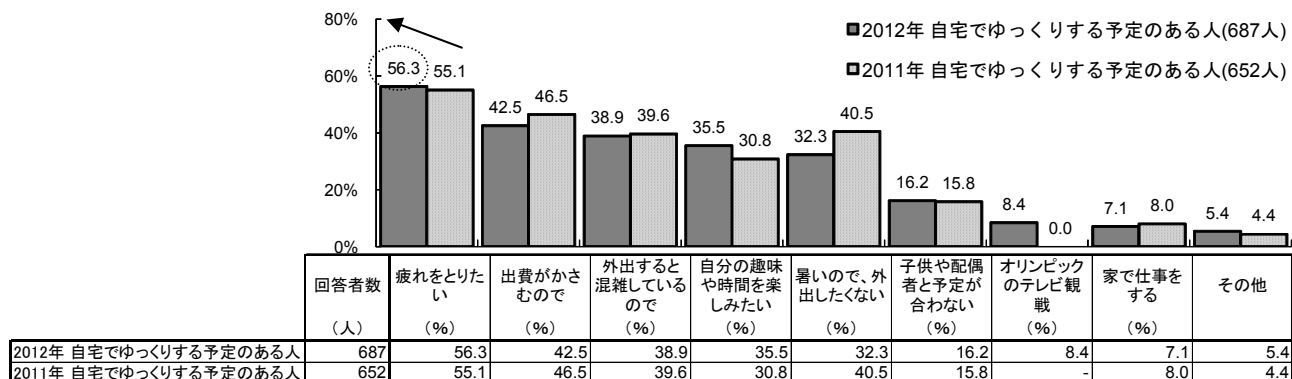


調査開始以来、過去最高

	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年	2006年
プール・遊園地・ テーマパーク(%)	20.2	16.8	16.6	11.4	11.5	9.6	8.3

※選択肢に「プール」を加えたのは2010年から

Q. 夏休みを自宅で過ごす理由を教えてください(複数回答)



1. 今年の夏休み

(3) 夏休みに費やす金額

**今年も節約傾向は続く！全体平均は「82,974円」
“子供のいない夫婦”は初めて10万円の台へ！**

- 夏休みに費やす金額について聞いてみました。
- 全体の平均は「82,974円」で昨年から1,874円減少し、直近4年間では最低水準となりました。景気の不透明さが続き、依然として節約志向が続いているようです。
- 家族構成別では、「既婚子供なし」いわゆる“子供のいない夫婦”は「100,191円」と、調査開始以来、初めて10万円を突破しました。同世帯の夏休みの過ごし方は、「国内旅行」(39.1%)、「海外旅行」(20.9%)が高く、特に「海外旅行」は昨年から倍増しています。
- 節約傾向が続くなか、“子供のいない夫婦”だけは“ちょっと贅沢”な夏休みを過ごしているようですね。

Q. 夏休みに使うお金はいくらですか

	(円)				
	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年
全体	82,974	84,848	86,159	84,736	76,955
未婚計	68,583	77,223	79,163	71,594	59,601
既婚計	88,651	87,818	88,098	89,990	87,620
既婚子供なし計	100,191	73,250	78,774	73,979	82,296
既婚子供あり計	86,800	90,115	89,442	91,896	88,962

<参考> 「既婚子供なし」の夏休みの過ごし方の比較（複数回答）

	自宅でゆっくり	帰省	国内旅行	プール・遊園地・テーマパーク	アウトドア	海外旅行	ボランティア	その他
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
2012年 全体	61.9	39.4	37.4	20.2	17.4	9.1	1.7	8.6
既婚子供なし計	50.0	45.5	39.1	9.1	16.4	20.9	0.9	10.9
2011年 全体	59.2	40.2	38.6	16.8	22.4	9.9	1.4	8.5
既婚子供なし計	61.1	43.5	38.9	5.6	22.2	10.2	-	8.3

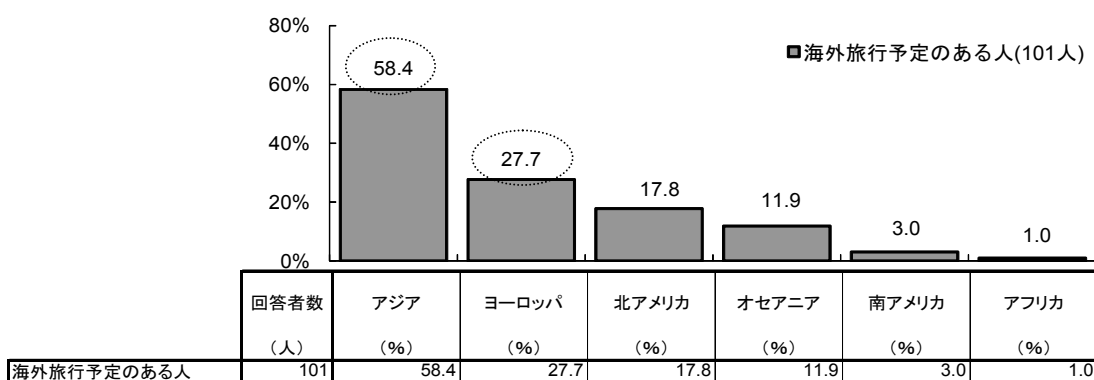
1. 今年の夏休み

(4) 海外旅行の行き先と理由

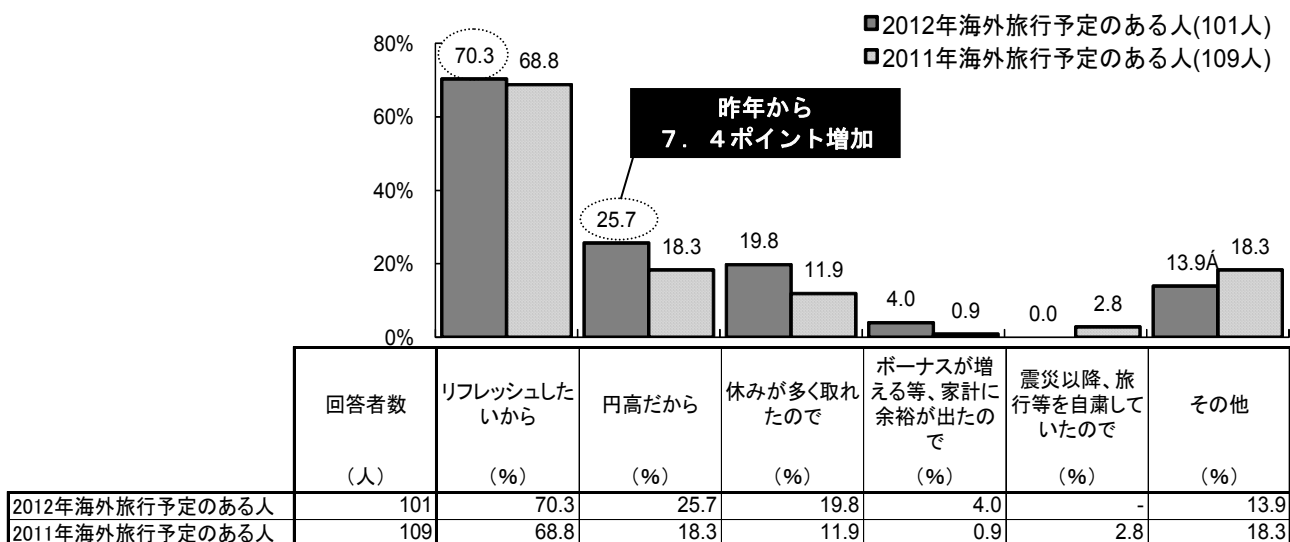
**海外旅行に行くなら、近場の「アジア」！
「円高だから」が4人に1人**

- ・ 夏休みの過ごし方で「海外旅行」と回答した人に行き先を聞いてみました。
- ・ 今年の夏休みは遠出をしない過ごし方が増えていますが、「海外旅行」でも同じ傾向で、行き先は「アジア」(58.4%)が最多、続いて「ヨーロッパ」(27.7%)でした。
- ・ また、海外に行く理由も聞いたところ、トップは「リフレッシュしたいから」(70.3%)、次いで2位は「円高だから」(25.7%)で、昨年から7.4ポイント増加しています。

Q. 海外旅行はどの地域に行きますか (複数回答)



Q. 海外旅行に行く理由を教えてください (複数回答)



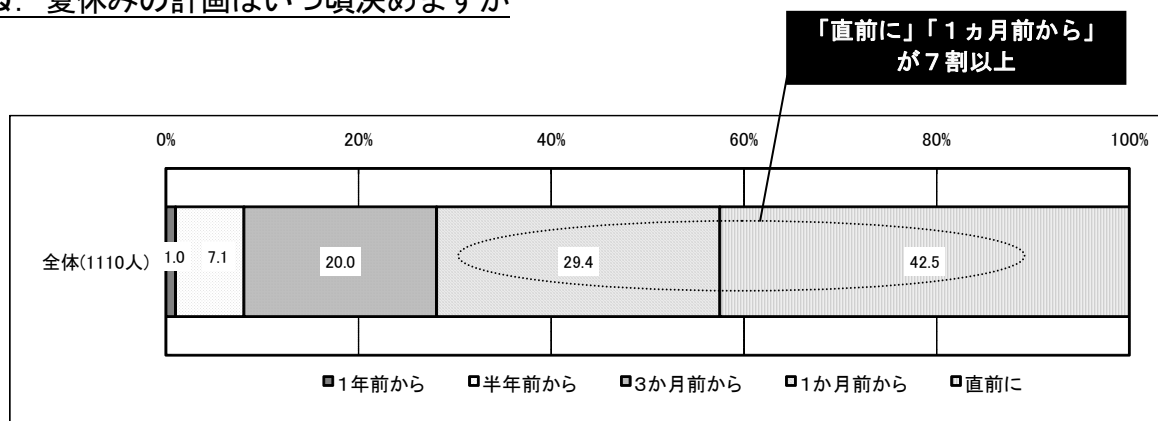
1. 今年の夏休み

(5) 夏休みの計画と決定権

**夏休みの計画は「直前に」「1ヵ月前から」決定が7割以上
若年層は妻に主導権！**

- 夏休みの計画をいつ決めるのか聞いてみました。
- 一番多かったのは「直前に」(42.5%)で、全体の半数近くを占めており、次いで「1ヵ月前から」(29.4%)でした。楽しい夏休みですが、仕事が忙しく早めに計画を立てる余裕のない人が多いのでしょうか。
- また、既婚者の人には、計画の決定権が家族の誰にあるのか聞いてみました。
- 全体で見ると「家族で話し合いのうえ決定」(38.3%)がトップですが、男性は、若い年代ほど「配偶者」に決定権があり、妻が主導権を握っていることがわかります。

Q. 夏休みの計画はいつ頃決めますか



Q. 夏休みの計画の決定権は誰にありますか

	回答者数 (人)	自分 (%)	配偶者 (%)	子ども (%)	家族で話し 合いのうえ決定 (%)	その他 (%)
既婚者	796	31.9	26.4	2.1	38.3	1.3
男性計	377	30.5	27.6	2.7	38.2	1.1
男性20代	27	14.8	40.7	-	44.4	-
男性30代	90	17.8	33.3	1.1	47.8	-
男性40代	122	32.0	25.4	3.3	38.5	0.8
男性50代	138	40.6	23.2	3.6	30.4	2.2

**若年層ほど妻に
主導権がある傾向**

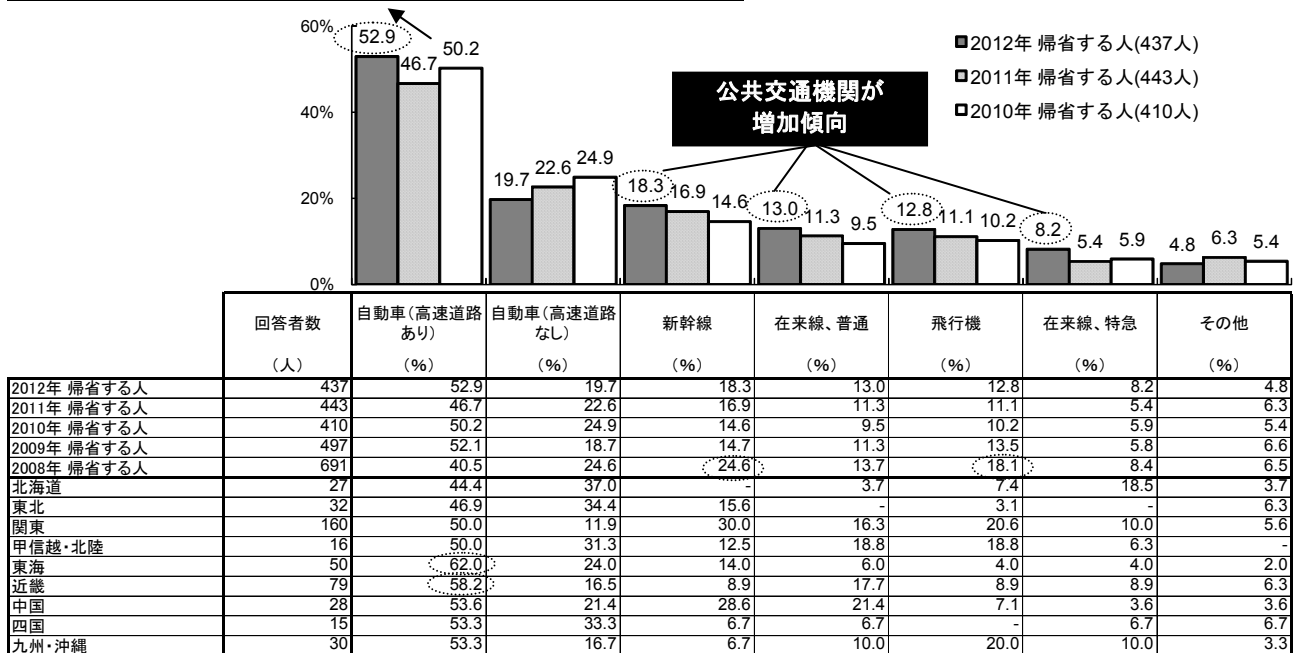
2. 帰省の交通手段と費用

(1) 帰省の交通手段

高速道路を利用した帰省が過去最高！ 楽しんで帰省したい！？「飛行機」「新幹線」が増加傾向

- 5 ページのとおり帰省をする人は約 4 割いました。帰省手段について聞いてみました。
- 今年もトップは「自動車（高速道路あり）」（52.9%）で、昨年から 6.2 ポイント増加し、過去最高となりました。今年開通した新東名高速道路の影響でしょうか、「自動車（高速道路あり）」を地域別に見ると「東海」（62.0%）が最も高く、次いで「近畿」（58.2%）と続きます。
- また、「新幹線」（18.3%）や「飛行機」（12.8%）など、便利な公共交通機関を利用する人も増加傾向にあり、話題の LCC などの効果が予想されるものの、“1000円高速”で話題になった ETC 割引導入前（2008年）の水準には未だ回復していません。
- 家族構成別に見ると、「既婚子供あり」は「自動車（高速道路あり）」（61.4%）が昨年から 9.1 ポイント増加。一方、「既婚子供なし」は、「新幹線」（30.0%）や「飛行機」（26.0%）が大きく増加しており、帰省手段にも違いがあるようです。

Q. 帰省手段として、何を使いますか（複数回答）



<参考> 自動車（高速道路あり）の過去の推移

	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
自動車(高速道路あり) (%)	52.9	46.7	50.2	52.1	40.5	43.4

調査開始以来、過去最高

<参考> 家族構成別の内訳（複数回答）

	回答者数 (人)	自動車(高速道路あり) (%)	自動車(高速道路なし) (%)	新幹線 (%)	在来線、普通 (%)	飛行機 (%)	在来線、特急 (%)	その他 (%)
2012年	未婚計	81	25.9	16.0	28.4	35.8	14.8	13.6
	既婚計	356	59.0	20.5	16.0	7.9	12.4	7.0
	既婚子供なし計	50	44.0	16.0	30.0	18.0	26.0	-
	既婚子供あり計	306	61.4	21.2	13.7	6.2	10.1	6.2
2011年	未婚計	96	25.0	12.5	22.9	17.7	15.6	8.3
	既婚計	347	52.7	25.4	15.3	9.5	9.8	4.6
	既婚子供なし計	47	55.3	19.1	21.3	19.1	10.6	6.4
	既婚子供あり計	300	52.3	26.3	14.3	8.0	9.7	4.3

2. 帰省の交通手段と費用

(2) 帰省の目的と費やすお金

**帰省交通費は2年連続増加で「28,508円」
おみやげ代はついに1万円割れ！3年連続の減少**

- ・ 帰省の際に費やす交通費とおみやげ代を聞きました。
- ・ 全体では、帰省交通費が「28,508円」で昨年から1,124円増加した一方で、おみやげ代は519円減少で「9,487円」となり、1万円割れとなりました。
- ・ また、帰省交通費は「未婚」(16,889円)が昨年に比べ4,090円減少していますが、「既婚」(31,152円)で1,995円増加しています。とりわけ、「既婚子供なし」(35,300円)は8,406円も増加しており、実額でも最高となっています。
- ・ 前ページのとおり、「既婚子供なし」は「新幹線」や「飛行機」の利用が昨年より大きく増加していることも、帰省交通費増加要因の一つと言えそうです。
- ・ 一方で、おみやげ代は全層で前年から減少しており、おみやげ代で節約した分を、交通費の増額に充てているのでしょうか。

Q. 帰省費用はいくらですか (交通費+おみやげ代)

	平均交通費(円)		平均おみやげ代(円)		平均帰省費用(円)	
		前年差		前年差		前年差
全体	28,508	1,124	9,487	△ 519	37,995	604
未婚計	16,889	△ 4,090	6,444	△ 2,087	23,333	△ 6,177
既婚計	31,152	1,995	10,180	△ 235	41,331	1,760
既婚子供なし計	35,300	8,406	9,800	△ 115	45,100	8,291
既婚子供あり計	30,474	963	10,242	△ 252	40,716	711

<参考> 帰省費用の過去の推移

	2012年	2011年	2010年	2009年
平均交通費(円)	28,508	27,384	26,352	29,286
平均おみやげ代(円)	9,487	10,007	10,071	10,211
平均帰省費用(円)	37,995	37,391	36,423	39,497

2年連続の増加！

3年連続の減少！

3. 節電への取組み

(1) 節電に対するイメージと意識

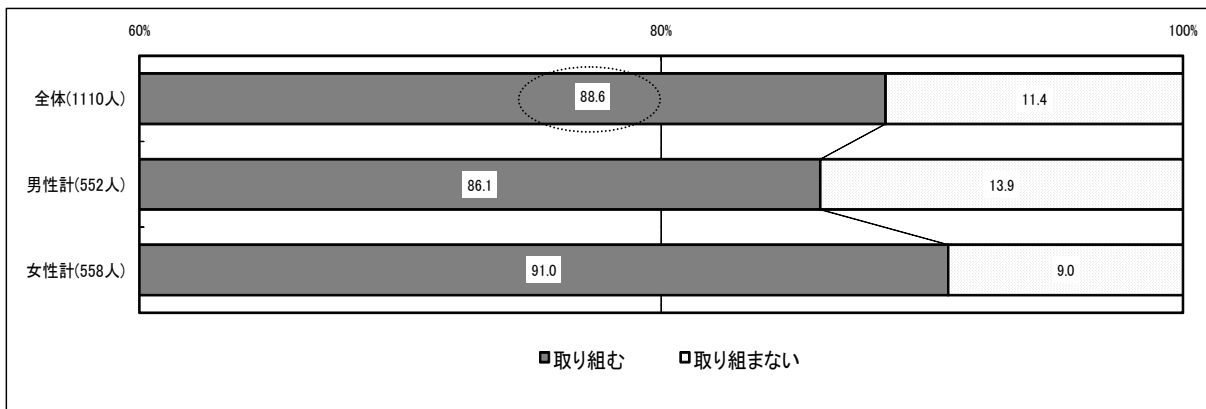
今年も夏のイメージは「節電」 全国の約9割が取り組む！節電意識は「西高東低」

- 今年の夏のイメージを聞いたところ、トップは昨年と同じく「節電」(16.4%)で、節電に対する意識は今年も非常に高いようです。次いで「節約」(11.3%)、3位には4年に一度の祭典「五輪」(7.9%)が入りました。
- そこで、節電意識について聞いたところ、全体の「88.6%」が今年も節電に取り組むことが分かりました。性別で見ると女性(91.0%)が男性(86.1%)よりも4.9ポイント高く、節電意識の高さが伺えます。
- また、地域別で見ると、西日本全域で9割以上の人々が節電に取り組む姿勢であることが分かります。今年の夏は、西日本を中心に電力不足が懸念され節電要請もあり、取組み意識が高くなっているようです。

Q. 今年の夏をイメージする文字を教えてください(自由回答)

順位	○○	の夏	回答者数 (人)	占率 (%)
1	節電	の夏	182	16.4
2	節約	の夏	125	11.3
3	五輪	の夏	88	7.9
4	我慢	の夏	59	5.3
5	のんびり	の夏	30	2.7

Q. 今年の夏は節電に取り組みますか



	取り組む (%)	
	2012年	2011年
全体	88.6	88.1
北海道	86.9	60.3
東北	79.4	85.0
関東	88.1	92.2
甲信越・北陸	89.8	86.8
東海	84.2	92.2
近畿	92.6	90.4
中国	91.5	79.7
四国	96.4	89.3
九州・沖縄	91.1	89.2

西日本が高い
節電意識！

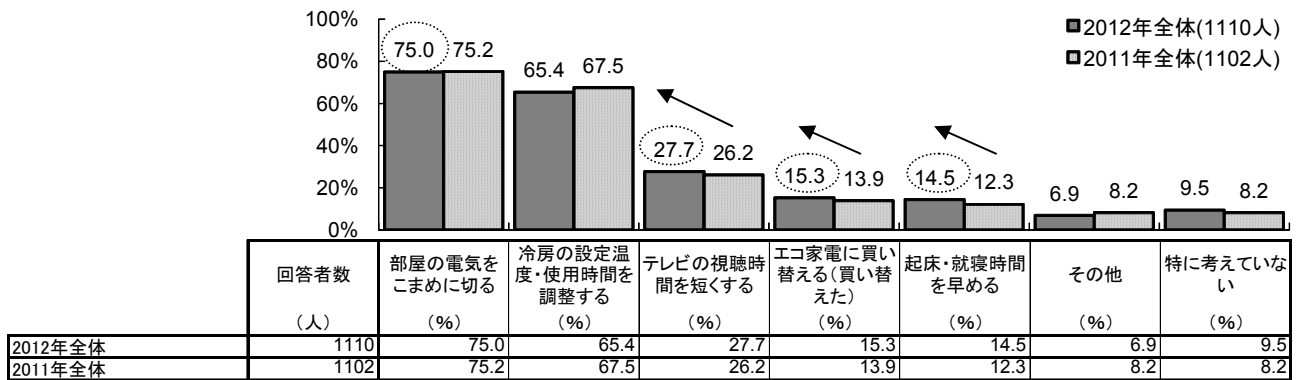
3. 節電への取組み

(2) 節電方法と冷房の設定温度

「こまめな電源オフ」や「エコ家電への買い替え」などで節電
冷房の設定温度はちょっと涼しい「27.1℃」

- ・ 節電のために各家庭で取り組むことについて聞きました。トップは昨年と変わらず「部屋の電気をこまめに切る」(75.0%)でした。
- ・ また、今年は「テレビの視聴時間を短くする」(27.7%)や「エコ家電に買い替える」(15.3%)、「起床・就寝時間を早める」(14.5%)が増加しています。
- ・ 恒例の冷房の設定温度について聞きました。
- ・ 調査開始以来、最高温度となった昨年の「27.5℃」からは少し涼しくなり、今年は「27.1℃」となりました。依然として節電を意識した温度設定のようです。

Q. 今年の夏、節電のために家庭で取り組むことは何ですか（複数回答）



Q. 冷房の設定温度は何度ですか

	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年
全体	27.1℃	27.5℃	26.5℃	26.6℃	26.8℃
男性計	27.2℃	27.3℃	26.4℃	26.4℃	26.6℃
女性計	27.1℃	27.6℃	26.6℃	26.8℃	26.9℃

3. 節電への取組み

(3) 節電対策の購入商品とその金額

**節電対策で、4人に1人が「扇風機」購入！
節電商品の平均購入金額は「36,013円」**

- ・ 今年の夏、節電対策で購入した（する予定の）商品を知りました。
- ・ トップは「扇風機」（24.9%）で4人に1人が購入しています。消費電力の少ないものから羽根の付いていないものまで、さまざまな性能を備えた「扇風機」が人気なのでしょう。次いで「エアコン（クーラー）」（12.3%）、「冷蔵庫」（7.8%）でした。
- ・ 続いて、節電商品の購入（予定の）金額を聞きました。購入しない人は約半数いるものの、購入する人のなかでは、「1万円以上3万円未満」（16.6%）が最多で、平均金額は「36,013円」となりました。
- ・ 最近では、「省エネ」と謳った商品が増えており、将来のための初期投資として考えている人が多いのでしょうか。

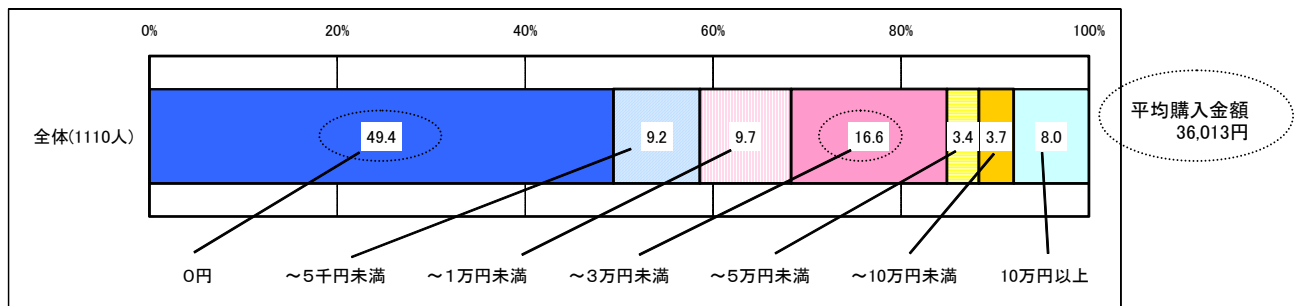
Q. 節電対策で購入した（する予定の）商品を知ってください（自由回答）

順位	商品	回答者数	占率
1	扇風機	140	24.9
2	エアコン(クーラー)	69	12.3
3	冷蔵庫	44	7.8
4	LED電球	35	6.2
5	すだれ、よしず	34	6.0

4人に1人が
購入！

※節電商品を購入すると回答した人（562人）ベース

Q. 節電商品購入のために使った（使う予定の）金額を知ってください



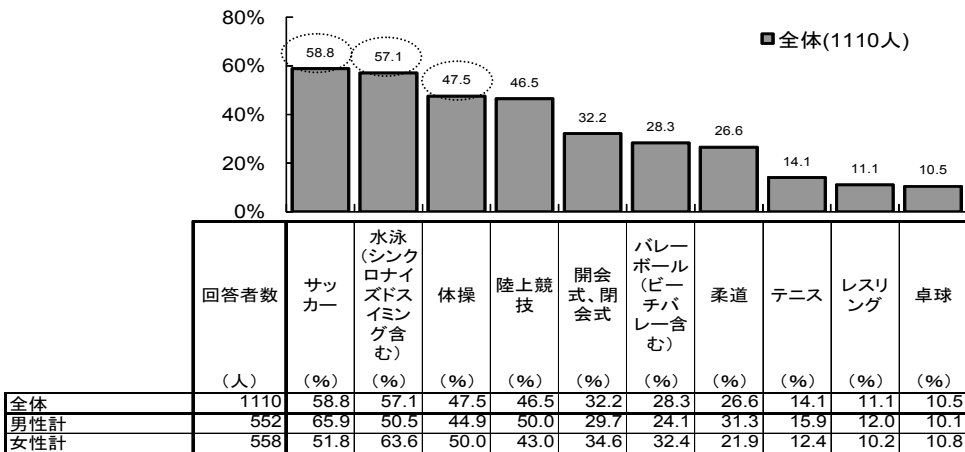
【番外編】4年に一度の祭典「ロンドンオリンピック」

注目競技とメダル獲得予想

関塚・なでしこジャパン、期待どおりメダル獲得か！？
金メダルの予想獲得数は「5.2個」！

- ・ 11ページで、「五輪」が今年の夏のイメージの3位になりましたが、現在開催中のロンドンオリンピックで関心のある競技について聞いてみました。
- ・ 最も関心があったのは「サッカー」(58.8%)で、関塚ジャパンとなでしこジャパンともにメダル獲得の期待が寄せられています。
- ・ 次いで「水泳」(57.1%)、「体操」(47.5%)と続いており、「体操」内村選手の金メダルをはじめ、既に両競技でメダルを獲得しています。
- ・ また、ロンドンオリンピックでの日本選手団のメダル獲得数を予想してもらいました。
- ・ 金メダル獲得数は「5.2個」、総メダル獲得数は「14.2個」という結果になりました。総メダル獲得数はすでに予想を大きく上回っていますね。

Q. ロンドンオリンピックで関心のある競技は何ですか(複数回答)



Q. 金メダル獲得数を予測してください

回答者数 (人)	0個 (%)	1~3個 (%)	4~6個 (%)	7~9個 (%)	10~14個 (%)	15~19個 (%)	20個以上 (%)	平均 (個)
全体	1110	2.2	38.2	35.9	8.5	12.6	2.0	5.2

Q. 総メダル獲得数を予測してください

回答者数 (人)	0個 (%)	1~3個 (%)	4~6個 (%)	7~9個 (%)	10~14個 (%)	15~19個 (%)	20~24個 (%)	25~29個 (%)	30個以上 (%)	平均 (個)
全体	1110	1.1	2.6	12.7	10.0	30.5	16.5	13.0	4.8	8.8